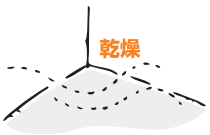
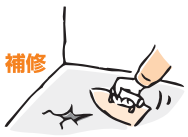
床材一般の施工注意点

1 下地面のチェック

下地床面（特にモルタル）は、充分に乾燥させてください。



下地床面に凹凸がある場所、ヒビ割れ、穴あきのある場所は補修を行ってください。



油汚れ、ゴミ、ホコリがあると接着不良を起こしますので、きれいに取り除いてください。

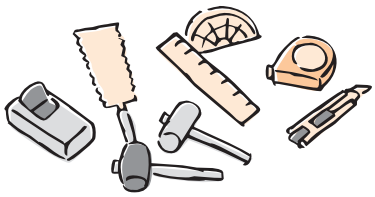
下地の種類と条件

下　地	条　件
モルタル仕上げ面	● 打設後20日以上養生され含水率が8%以下。 ● 突起やゆがみ、段差がないこと。 ● 不陸（ゆるやかな起伏）の程度は、1mにつき4mm以内。
木質仕上げ面（合板・パーティクルボート）	● 段差がないこと。 ● 板のジョイント部分がたわまないこと。 ● 床下地として強度があること。
再生仕上げ面	● 床の改装の場合は、古い仕上げ材や仕上げ材を固定していた接着剤などを取り除き、下地条件に合うように調整。 ● 古い仕上げ材や接着剤がとれない場合は、合板を下貼りするなどの処置をして下さい。 ※古い仕上げ材の上へ直接床材を上貼りしないこと。（浮きやはがれの原因となります。）

床下地の湿気の確認方法としては、事前に一平方メートルぐらいのポリエチレンシートを下地面にかぶせ周囲をテープ貼りし、翌日シート裏面に生じた水滴を確認する。

2 施工用具のチェック

メジャー・定規・分度器・線引き用墨（チョークライン）・カッターナイフ・剪定鋏・のこぎり（工作用）・木槌・ローラー（30kg～40kg）・コンパス・巾定規・かんな（籐・竹タイルのサイズ微調整が容易です）・ゴムハンマー・その他



3 接着剤のチェック

- 施工する場所、商品に最も適した接着剤の選定を行ってください。
- 下地の種類および下地条件や使用条件によっても選択すべき接着剤が異なりますので、取扱説明書をよくお読みの上、施工を行ってください。

接着剤適合表

床材タイプ ＼ 接着剤タイプ		USタック		
		水まわり用US-WP	汎用タイプUS-NSP	スプレーボンドUS-SB
		ウレタン系	アクリル系エマルジョン	合成ゴム系
籐・竹タイル	一般床	○	△	○
	耐水	○	×	×
竹タイル エコプラス	一般床	○	○	○
	耐水	○	○	×
籐・竹ロール	一般床	×	○	×
	耐水	×	×	△
ベストコイヤー	一般床	○	△	×
	耐水	○	×	×
麻・ヤシタイル	一般床	○	○	○
	耐水	○	×	×
麻・ヤシロール	一般床	○	○	×
	耐水	○	×	×
ウール系ロール	一般床	×	○	×
	耐水	×	×	×

商品毎に接着剤適合表を表示しています。特に△印については、ご確認ください。

ご注意していただきたいこと

接着剤使用について

- 使用前は必ず良く混ぜてから使用してください。
- オープンタイム・塗布量は必ず守ってください。
- ローラー（30kg～40kg）等で充分に圧着してください。
- 接着剤の注意書きをよく読んでください。

低温施工について

- エマルジョン系接着剤は5℃以下では使用できません。
- 溶剤使用型は低温時に反応が遅くなりますので、その間、材料の浮き剥がれに注意し、重しをのせて、養生してください。
- できるだけ温度を高めるように努めてください。（室温17℃以上が基本です。）